

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学Ⅱ (作業療法学科中心)		必修 (作) 選択 (福)	2	2 (作) 1.2 (福)	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
海保 享代	C317	kaiho		月・木 13:00~14:00	
授業の目的・概要	人間の動作を捉えるために、バイオメカニクス、運動生理、運動学習を中心に理解を深め運動を的確に判断できるようになることを目的とする。また、2年次以降の演習等にて必要となる知識の習得を目的とする。講義や質疑応答を行うオンラインの遠隔授業を実施し、終了後は授業内容による課題提示する。その後フィードバックとして課題の解答提示・指導を行い授業内容の理解を深める。また、知識の習得を確認するため、毎回オンライン上で小テストを実施する。				
学習上の助言	この授業では解剖学・運動学で学んだ知識が必要となるので、解剖学の教科書や運動学の授業資料を復習しておくこと。 授業で学んだ知識は使える知識となるまで反復学習 (書く、読む、体を動かすなど) を行いインプットする。そして学生同士で確認や説明するなどアウトプットの機会を多く行う。インプットとアウトプットするまでの過程を繰り返し行うことで学習効果が高まる。				
教科書	筋骨格系のキネジオロジー 第3版 著: Donald A. Neumann 出版: 医歯薬出版				
参考書	標準理学療法学・作業療法学 運動学 編: 伊藤元、高橋正明 出版: 医学書院 リハビリテーション運動生理学 監修: 玉木彰 編: 解良武士 出版: メジカルビュー社 運動学習理論に基づくリハビリテーションの実践 第2版 編著: 長谷公隆 出版: 医歯薬出版 基礎運動学 第6版 補訂 著: 中村隆一他 出版: 医歯薬出版				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	頭部・体幹の筋、関節の機能と役割を説明できる。			HSU(2)、OT(2)	
②	姿勢とその制御、歩行や走行についてその要素や相違点を説明できる。			HSU(2)、OT(2)	
③	バイオメカニクスに関する用語を正しく理解し、適切に使用し説明できる。			HSU(2)、OT(2)	
④	運動学習に関する用語を正しく理解し、適切に使用し説明できる。			HSU(2)、OT(2)	
⑤	運動生理に関する用語を正しく理解し、適切に使用し説明できる。			HSU(2)、OT(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 頭部・顔面の筋、顎関節 (咀嚼) について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 課題提示時と返却時に実施	印刷教材等での授業	課題①: 頭頸部の運動 (第11章第1部)。	6	
2	体軸骨格の骨・関節について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 課題提示時と返却時に実施	印刷教材等での授業	課題②: 脊柱の運動 (第9章)。	6	
3	体軸骨格の筋と関節の相互作用について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 課題提示時と返却時に実施	印刷教材等での授業	課題③: 脊柱の筋 (第10章)。	6	
4	胸部の構造と換気運動について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 課題提示時と返却時に実施	印刷教材等での授業	課題④: 胸部の運動 (第11章第2部)。	6	
5	バイオメカニクス① 力学の単位、運動の記載方法、運動の法則について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 課題提示時と返却時に実施	印刷教材等での授業	課題⑤: バイオメカニクス① (第4章)。	6	
6	バイオメカニクス② 関節モーメント、生体力学について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 課題提示時と返却時に実施	印刷教材等での授業	課題⑥: バイオメカニクス② (第4章)。	6	
7	姿勢と姿勢制御について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 課題提示時と返却時に実施	印刷教材等での授業	課題⑦: 姿勢について確認する (配布プリント)。	6	
8	歩行の身体運動学① 歩行周期・正常歩行について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	課題⑧: 歩行周期 (第15章)。	4	
9	歩行の身体運動学② 歩行分析(重心移動、筋活動の特徴)、異常歩行について学習する。 フィードバック: 課題返却で実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	課題⑨: 歩行時の筋活動の特徴 (第15章)。	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

10	走行の身体運動学について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型 授業	課題⑩：走行の特徴について (第16章)	4
11	運動生理① 運動の中樞神経機構について学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型 授業	課題⑪：運動時の神経機構 (参考：配布資料)	4
12	運動生理② エネルギー代謝、呼吸・循環について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型 授業	課題⑫：運動時のエネルギー供給 (参考：配布資料)	4
13	運動学習理論① 運動学習の定義や意義について学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型 授業	課題⑬：運動学習 (参考：配布資料)	4
14	運動学習理論② 運動学習の形成の過程、アフオーダンスについて学習する。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型 授業	課題⑭：運動技能、アフオーダンス (参考：配布資料)	4
15	総まとめ：課題プリントを実施し、今までの授業の振り返りを行う。 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型 授業	課題⑮：これまでの学習のまとめ (参考：教科書・配布資料)	6
試	定期試験			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	20	0	0	0	90
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	①	②		
試験	①	✓	定期試験 (70 点) を実施して評価する。授業中に使用した教科書の範囲と配布したプリントの中から基本的な内容に関して出題する。設問数は多くすべての領域について基本的な内容が理解され医学用語が正確に書けるか問う。定期試験は満点を 70 点とし定期試験は全範囲とする。	試験終了後に答案用紙を返却し正誤を確認する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
レポート	①	✓	印刷教材等・同時双方向授業後に課題を提示する。課題は配布した資料・教科書から出題する。手書きで書いたものを撮影しメール添付にて提出する。評価ポイントは期限までの提出、内容の正誤とする。	提出後にメール等にて返却し、正誤を確認する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
<p>Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。 遠隔授業の実施状況によっては今後、再びシラバス改訂の可能性はある。</p> <p>教員の実務経験：作業療法士免許を有したのち 10 年以上の臨床業務経験</p> <p>実践的授業の内容：臨床での運動学の知識の活用や疾患の説明を加えることにより、実践的な運動学に関する知識と技術の獲得を促す。</p>				